



植草たけし

発行 植草たけし政務活動事務所 〒260-0031 千葉市中央区新千葉 3-6-11 TEL.043-238-1830 FAX.043-238-1831

千葉市議会 平成30年第4回定例会

自由民主党千葉市議会議員団

植草 毅 代表質問抜粋

おかげ様をもちまして今年度は会派副幹事長、議会運営委員、総務委員という立場並びに代表質問の機会を頂き市政全般について質問が出来、充実した日々を過ごすさせて頂いております。

千葉市は他市よりは緩やかではありますが、少子高齢化が進んでおり、又85%の確立で震度6弱の地震が起こると言う報告がありました。もしも時に想定外にならないよう、しっかりと備えていくことが重要です。

議員としてこれからも、皆様方の負託に応えるべく安心安全なまちづくり、任んでよかった、これからも住み続けたいと思える千葉市を目指し邁進してまいりますのでご支援ご指導のほどよろしくお願いいたします。

千葉公園と250競輪の今後の方向性について

現在、千葉公園では250競輪の開催に向けた(仮称)千葉公園ドーム等の施設を包括する千葉公園全体の再整備計画の検討が進められています。これらの施設は担当する部署が違いますが、整備は一体的に進められるべきであると考えています。

Q 千葉公園の再整備に向けた事業推進の体制、進め方のポイント、個別最適ではなく全体最適を促す際のポイントについてお伺いします。

A 施設の所管は、経済部、生活文化スポーツ部、公園緑地部が担当していることから、各所管が連携し円滑に事業を推進するため、本年四月より関係所管による千葉公園の再整備に関する検討会議を開催し、常に情報や課題を共有しながら、必要な協議、調整を行っております。ポイントとしては、千葉公園に求められる様々な機能が最大限に発揮されるよう、庁内庁外の関係者も含め、千葉公園の将来

将来像と再整備計画を共有し、それぞれの施設整備に取り組んでいく点であると考えております。

Q 野球場、プールなどの老朽化した施設についても、この機会に一体的に見直す考えはありますか。

A 千葉公園再整備マスタープランの検討作業において、施設の現状、市民ニーズ、民間事業者による公園の魅力向上に資する事業導入の可能性などを踏まえ、たうえで、公園に必要な機能について整理し、まとめて参ります。

Q 組織横断的なタスクフォースとしての体制を整え、事業を進めることを提案したいと思いますが、いかがでしょうか。

A 本事業は、千葉駅北工団をけん引する重要な事業であり、工団全体の魅力向上や賑わいづくりに大きなインパクトを与えるものであります。このことから、千葉公園の再整備は、工団全体のまちづくりの一環として捉えており、都市局、グリーンテニスをとり、市民局、経済農政局など関係部局と連携して、まちづくりを進めて参ります。

Q 250競輪の採算性やビジネスプランについての市当局の見解について教えてください。

A (公財)JK Aでは、千葉競輪における過去の利用者数や経費の実績等をもとに、新競輪場建設費及び旧競輪場解体費用も加味した上で、一定以上の開催日数を確保すれば、十分に採算性はあるものと試算しております。

また、インターネットによる車券販売や、施設の維持管理の効率化などにより、各種コストの圧縮が可能となる他、オリンピックや世界選手権等と原則同様のレベルのもと、世界トップクラスのレースを250競輪の場で提供し、公営競技としてはもとより、見るスポーツとしても十分な魅力を持ったコンテンツとして、新たなファン獲得につながるが見込まれ、結果として安定的な経営が可能となるビジネスプランになっているものと考えております。

Q 今後の250競輪の事業遂行にあたっての課題について教えてください。

A 新たな取組みでもあり、何よりも新規ファンの獲得が重要であるものと考えております。また、安定した事業運営が出来るかについても課題であると認識しております。

具体的には、業界をあげた、250競輪についてのプロモーションなど、新たなファン獲得に向けた取組みを、関係者とも連携しながら実施していく必要があり、今後業界団体である(公財)JK Aとも協議して参ります。また、屋内木製バンクによる250競輪は日本初の取り組みでもあり、円滑なレース運営が出来るよう、事業運営体制の構築等十分な準備を進めて参ります。

たけしの意見

千葉公園の再整備は、千葉都心のみならず、千葉市の魅力向上に資する一大プロジェクトで、本市の都市イメージに大きなインパクトを与えるものと考えています。従って広い視野と先を見通す深い視点を持ち、関係者が一丸となって取り組んでいただくことを要望いたします。また、250競輪事業の安定した経営を通じ、本市財政への継続的な寄与が可能となる体制作りに向け、各種準備を滞りなく進めて頂くことを要望いたします。



建設行政について

Q 新たな広域道路交通計画「策定の経緯及び内容についてお聞かせください。」

A まず、策定の経緯及び内容についてですが、平成三十年三月の道路法等の一部改正により、平常時、災害時を問わない安定的な輸送を確保するため、国土交通大臣が物流上重要な道路網を指定する「重要物流道路制度」が創設されました。

具体的には、概ね一十～三十年間の中長期的な視点で、道路交通の今後の方向性を示す「新広域道路交通ビジョン」を策定したうえで、高速道路やこれを補完する国道等を中心とした「広域道路ネットワーク計画」や、主要鉄道駅等の交通拠点や防災機能の強化策に関わる「交通防災拠点計画」及び「ICTや自動運転等の革新的な技術を見据えた「ICT交通マネジメント計画」の3つの計画を策定することとなっております。

Q 下水道における地震対策の今後の取組みについてお聞かせください。

A 千葉市地域防災計画「において地震被害想定が修正されたことから、現在、耐震化対象路線や整備の優先順位など、千葉市下水道総合地震対策計画」の見直しを進めており、その計画に基づき、引き続き重要な管渠の耐震化を進めて参ります。

たけしの意見

本市がさらなる発展をすすめるためには、新たな高速道路が必要であると考えております。国や県と連携し、しっかりと計画が策定されることを要望いたします。

また、下水道は、市民の安全・安心に関わる重要な社会インフラのひとつです。災害時においても機能維持が図られる様、引き続きしっかりと対策をお願いいたします。

防災対策について

本年七月に、避難所開設・運営マニュアルを分かりやすく修正しましたが、マニュアルは配布するだけでなく、実際に避難所運営委員会が活用できるように、行政による、

さらなる支援が求められます。

また、市民が防災活動を円滑に行うためには、行政が、早急に、市内の被災状況を収集分析し、災害対策本

部を迅速に立ち上げることに肝要であります。

Q 避難所運営委員会の現状に対する評価とその活動の実効性あるものとするための対策について教えてください。

A 大規模災害時に、円滑に避難所の開設運営を行うため、地域住民、施設管理者及び市職員等の連携協力による避難所運営委員会の設立を進めており、本年十一月一日現在の設置率は、92.7%となっております。

たけしの意見

本年七月に修正した避難所開設「運営マニュアル」について地域の方々からは「理解しやすい」「実践的になった」などのご意見をいただいているところであります。

今後も避難所開設運営について分かりやすく伝えるための動画作成を検討するほか、運営委員会の事例紹介や活動に必要な経費に対する補助事業を引き続き実施するなどにより、運営委員会の自発的な活動を強化して参ります。

Q 市本庁舎が使用できない場合、ポータルサイトタワー12階会議室への災害対策本部の設置を円滑に行えるのかについて、お伺いします。

A ポータルサイトタワー12階会議室には、災害対策本部を設置するために必要となる電話ファックスプリンターなどのほか、地域防災

無線の基地局、衛星電話回線などを整備している他、初動時に必要となる様式類やマニュアル、資機材などを整理し、参集した職員が、迅速に災害対策本部設置に取り掛かれるような体制となっております。

ポータルサイトタワーに災害対策本部を設置する訓練は、平成二十四年一月に行っており、業務継続計画の策定や、地域防災計画の修正などを踏まえ、今後、かかるべき時期に訓練を実施する等により、あらためてポータルサイトタワーでの本部設置の実効性を確認したいと考えております。

たけしの意見

すべての避難所において、マニュアルを活用した実践的な避難訓練や避難所開設訓練が実施されるよう、市として、避難所運営委員会への支援を強化することを要望いたします。

また、ポータルサイトタワーの本部設置について、訓練実施等により、実効性を確保することですが、災害時にはエレベーター等が使えないことが想定されますので、実際に徒歩で移動し、12階まで階段で登っていただくことで、様々な課題も見えてくると思いますので、ぜひ早期に訓練を行っていただくことを要望いたします。

病児・病後児保育について

女性の社会進出に伴い、お子さんが病気で保育所等に通うことができない日、仕事を休みできない場合、お子さんを安心して預けることができる病児病後児保育施設の役割は、ますます重要になっております。

Q 今後の方向性について、伺います。

A 病児病後児保育の需要は、保育需要と連動して、今後も増加していくと考へており、当面、需要が供給を上回る状況が続くものと認識しております。

本市としては、今年度中に実施予定の次期こどもプラン策定に向けたニーズ調査等により、地域ごとの需要や将来の需要の見通しを的確に把握した上で、千葉市医師会とも協力しながら、さらなる拡充を検討して参ります。

Q 保育施設の新規開設の見通しについて教えてください。

A JR千葉駅付近の既存医療機関が新規開設に向けた準備を進めており、平成三十一年四月より、9カ所目となる病児病後児保育施設が開設される予定です。

活動ネットワーク

- 千葉市青少年相談員連絡協議会顧問
- 千葉県立幕張総合高等学校同窓会副会長
- 千葉市社会福祉協議会西千葉地区部会監事
- 法政大学経済学部同窓会常任幹事
- 緑町中学校区青少年相談員連絡会会長
- 保護司
- 登渡神社登渡会副会長
- 千葉市消防団1分団3部部員
- 薬物乱用防止教育講師
- 千葉ネオライオンズクラブ理事

主な役職・所属委員会

- | | | | |
|-----|----|----|----|
| 自民党 | 議会 | 幹事 | 長 |
| 総務 | 委員 | 委員 | 委員 |
| 議運 | 委員 | 委員 | 委員 |
| 廃棄物 | 減量 | 推進 | 審議 |
| 議 | 会 | 上 | 議 |



たけしの意見

事業者を適切にサポートし、新規開設に向けてより積極的な対策を講ずること、また、需要の将来見通しや地域ごとの需要と供給のバランス等を検証した上で、必要な拡充を図っていくよう要望いたします。

さらに、お子さんが病気で困ったときに、病児・病後児保育が利用できるよう、改めて、本制度の周知を徹底するよう要望いたします。

これからも市民の安心安全のため、行政とともに頑張る事をお約束します。